

博士論文製本に関するお願い

(博士論文製本仕様)

東京大学大学院人文社会系研究科

■一般

- ・論文提出にあたっては、以下の「製本仕様」に従って製本を行うこと。
- ・簡易製本ではなく、長期保存・利用に耐えうる製本を行うこと。(ハードカバーでも、簡易製本である場合があるので要注意)。
- ・一冊の厚さは約 3cm 以下が望ましく、それを超える場合は適当な箇所に分冊して製本することが望ましい。分冊した場合、1 冊目から順に巻数を付けて背に記載すること。

■背文字の表記方法

- ① 背の上部から、論題・著者名の順に、読みやすい書体の金文字で入れること。複数行になっても構わない。
- ② 背の一番下から 3cm までの部分は、ラベルを貼るため、空けておくこと。
- ③ 論題が長く、背に副題まで入りきらない場合、副題は省略可。※著者名は省略不可。
- ④ 論題 (欧文論題を含む) は原則的に天から地へ向けて読む形に入れること。
- ⑤ 複数冊にわたるため巻数が必要な場合は、論題と著者名の間に記載すること。
- ⑥ 背には論題・著者名・(あるいは巻数) 以外の情報を記載しないこと。

■製本クロス (表紙の色)

クロス (装丁布) の色は、文学部図書室に既に配架されているものと同様の濃紺または黒とする。

